

戦評用紙

第 1 試合

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第14回 鈴木正三杯・女子準決勝	開催日 平成23年1月23日(日)	会場 郷土の森総合体育館
男子・ 女子	対戦名 大和田ミニバスケットボールクラブ VS	住吉ミニバスケットボールクラブ

第1クォーター

大和田 と住吉 のジャンプボールでスタート。最初に流れを作ったのは大和田。 は住吉 にマークされシュートまでいかないが、自分をおとりにして にパスを流し得点につなげる。住吉は、大和田の厳しいディフェンスに苦しみ、ゴールに近づくことも出来ない。ゴール下も大和田 に支配され、 が満足に動けない状態となる。大和田は相手のミスを通いから速攻につなげて徐々にリードを広げる。住吉の初ポイントは残り2分を切ってから。 がアウトサイドを決めるが、攻守に大和田がゴール下を支配する第1Qとなった。

(11 — 4)

第2クォーター

住吉ボールでスタート。高さで劣る分動きで大和田を攻略したいところだが、大和田の動きが良く住吉のオフェンスを封じる。大和田は の力強い1対1で攻め込むも得点にはつながらない。住吉も鋭い動きでファールを誘い、開始2分で大和田は4ファールとなる。大和田は積極的なオフェンスでフリースローを獲得するが、正確性を欠き決められない。互いにフィールドゴールを決められない展開であったが、残り1分からシュートが決まり始める。終盤、住吉のミドルシュートが決まり追い上げる展開で前半終了となる。

(4 — 7)

第3クォーター

共にベストメンバーとなる後半、高さでは大和田有利となる展開が予想される。試合は住吉ボールで始まるも大和田 のローポストからのシュートが決まり試合が動く。住吉は と のハイポストにボールを入れてオフェンスを組み立てようとするが、大和田のディフェンスがよくパスを入れられない。住吉もディフェンスで粘り強く頑張るが、大和田 と が高さを活かし要所でポイントしていく。住吉はインサイドは苦しめられるがアウトサイドでパスを効率的にまわし、ロングシュートを続けて決めて1ゴール差まで詰める。終盤は互いにゴールを決めて2ゴール差のまま3Q終了となる。

(10 — 10)

第4クォーター

大和田はクォーター開始のマイボールを綺麗な形で速攻を決めリード、住吉もアウトサイドを決めリードを許さない。両チーム共にシュートミス、ターンオーバーを繰り返し得点を決められない展開となる。1ゴール大和田リードのまま試合は進み、残り2分で住吉は のドライブと のロングシュートが決まり逆転に成功。大和田もすかさず の個人技で同点とする。残り30秒、大和田はタイムアウトを駆使してゴールを狙うも、住吉 の5ファールと引き換えのディフェンスなどで大和田はポイントできず延長となる。

(4 - 8)

延長は住吉が攻守ともに崩の要である を失ったこともあり、一方的な大和田のペースとなった。試合終了まで流れは大和田のまま、住吉はなす術なく試合終了となった。

(10 — 0)

チーム名	得点	得点	チーム名	記入者名
大和田	39	29	住吉	江森 渉
-----	(15 — 11) (14 — 18) (10 延長 0)	-----	所属	
			大泉クロバーズ	

戦評用紙

第 2 試合

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第14回 鈴木正三杯・女子準決勝	開催日 平成23年1月23日(日)	会場 郷土の森総合体育館
男子・ 女子	対戦名 深川ミニバスケットボールクラブ VS 小柳ミニバスケットボールクラブ	

第1クォーター

開始早々深川 のミドルシュートが決まる。小柳も のゴール下で得点するが攻守交替しながら、深川のオールコートマンツーマン、小柳は小さく守る 2 - 1 - 2 で守りお互い攻めきれない時間が続く。残り2分を切ってから小柳 の速攻、深川 の速攻がお互い決まり、6 - 6 で1Q終了。

(6 — 6)

第2クォーター

開始10秒小柳 のポストプレイで得点すると立て続けに が得点し、6 - 12 と小柳がリードする。深川も の2度のフリースローと のジャンプシュートで得点しリズムが出てきて11 - 14 と詰め寄る。ここで小柳はタイムアウトを取る。タイムアウト後も一進一退で残り1分、小柳 深川 のミドルシュートが決まり、小柳3点リードで2Q終了。

(7 — 10)

第3クォーター

深川 のドライブイン、 のミドルシュート、小柳は の速攻でお互い点を取り合ったが、前半同様に小柳の小さいゾーンディフェンス、深川のオールコートゾーンプレスにお互いなかなか得点出来ず小柳3点リードの時間が続いた。残り2分深川は のパスカットからの速攻、小柳は のゴール下で得点する。残り30秒、深川 のジャンプシュートが決まり22 - 22 と同点になり3Q終了。

(9 — 6)

第4クォーター

開始早々深川 のミドルシュートが決まり後半初めて深川がリードする。その後小柳は のジャンプシュート のゴール下で得点し再度小柳が3点リードする。流れが小柳に傾きかけたこの時に深川がタイムアウト。タイムアウト後深川 のドライブインからシュートがファウルを誘い1本決め、 のゴール下が残り30秒で決まり27 - 27 の同点となる。ここで小柳はタイムアウト。タイムアウト後深川は厳しい寄りでパスカットし が得点して29 - 27 とする。そのままノータイム。深川が決勝進出を決めた。お互いディフェンスを頑張る好ゲームだった。

(7 — 5)

チーム名	得点	[得点	チーム名	記入者名
深川	29		13 — 16	27	小柳
-----			16 — 11	-----	所属
					北ノブ ステアーズ

戦評用紙

第 3 試合

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第14回 鈴木正三杯・男子準決勝	開催日 平成23年1月23日(日)	会場 郷土の森総合体育館
男子・女子	対戦名 弥生第二ホーツ少年団青空クラブ VS	小川ミニバスケットボールクラブ

第1クォーター

弥生第二、小川共にマンツーマンディフェンスでスタート。小川の の圧倒的な高さを生かしたゴール下でのジャンプシュートが入り先制。その後、小川は のドリブルシュートで加点。対する弥生第二は、 がゴール下でファウルをもらいフリースローを得る。2本共成功でリズムをつかみかけたが、小川の を中心にしたオフェンスの展開に加点をされる。一時小川が6点をリードするが、弥生第二 が連続得点で差を詰め食い下がる。このクォーターは、小川 が11点をあげる大活躍であった。

(12 — 15)

第2クォーター

両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。弥生第二が のジャンプシュートで先制。その後は一進一退の攻防が続くが、中盤から小川 のドリブルシュート、 のゴール下等、3連続シュートで突き放す。弥生第二も のドリブルシュートで反撃するが、小川 の個人技やシュートブロックが光り、弥生第二の反撃を許さなかった。

(8 — 12)

第3クォーター

弥生第二がオフェンスの形を作るが、連続でイージーなドリブルシュートをミス。3分間、弥生第二は得点を挙げられない。小川は と二人の長身を生かしたディフェンスリバウンド、シュートブロックが目立ち、速攻に繋げて得点を重ねる。小川36-20と、やや一方的な展開となる。残り20秒で弥生第二は厳しいディフェンスから切り返し、 の連続得点で盛り返し4Qに繋げる。

(6 — 9)

第4クォーター

開始早々、弥生第二はイージーシュートを外しリズムに乗れない。小川は のゴール下シュートを正確に決める。試合は決したかに見えたが、弥生第二は が自らドリブルでボールを運び、連続でシュートを決め追い上げる。リズムに乗った弥生第二は激しいディフェンスから小川にプレッシャーをかけ、ミスを誘って必死に小川を追い上げにかかる。 が速い切り替えしからの展開で、再度の連続得点で小川を追い詰める。追われる小川も長身 の個人技で対抗。最後は4点差まで差を詰められるが、何とか逃げ切りとなる。体格の差を最後まで徹底的に生かしきった小川が、粘る弥生第二を振り切って勝利した。

(15 — 9)

チーム名 得点

弥生第二 41

得点 チーム名

45 小川

記入者名

宮国 太一郎

所属

MBCリトルブズ

戦評用紙

第 4 試合

東京都バスケボール連盟 広報委員会

第14回 鈴木正三杯・男子準決勝	開催日 平成23年1月23日(日)	会場 郷土の森総合体育館
男子・女子	対戦名 高松バスケ	VS 開桜MBC

第1クォーター

開始早々高松 がドライブからのシュートと速攻からのシュートを連続で決めいいリズムを掴む。その後も長身の高松 がディフェンスリバンドを確実に取り、速攻からの得点と自らドライブシュートを決め得点を重ね、開始2分で8点差をつける。開桜は開始2分過ぎに のドライブシュートで初得点をあげるも高さのある高松のディフェンスになかなかドライブで切り込める事が出来ず、 のミドルシュートを2本決めるのがやっとだった。1Qは高松の高さを活かした守りと速い展開の攻撃が目立ち12点の大差で終了。

(18 — 6)

第2クォーター

お互いマンツーマンディフェンスでスタート。開桜は のドライブからのシュートで最初の得点をあげるも、その後 のポストプレー・ミドルシュートを打つが決まらず、序盤で点差を詰めることが出来ない。高松は1Q同様ディフェンスリバンドを が確実に取り、速攻を決める展開で着実に得点を重ねる。開桜はなんとか点差を詰めるべく、残り3分でタイムアウトを請求。タイムアウト後開桜 がポストプレーを頑張り得点を決めるが、高松も のポストプレーで応戦する。2Qはお互い互角に点を取り合ったが、早い展開で攻め続けた高松がいいリズムを掴んだまま2Q終了。

(10 — 8)

第3クォーター

3Q開桜はオールコートディフェンスで序盤に勝負をかけて点差を詰めようとするも、高松 の長身選手をうまく生かした攻撃を止める事が出来ず点差を広げられてしまう。その後開桜も のミドルシュート、 のドライブからのシュートで踏ん張る。高松は のミドルシュート、 のオフェンスリバンドからのシュートを確実に決めていく。開桜も終盤 のドライブシュート、ミドルシュート、 のポストプレーで粘りを見せ点差を大きく付けられる事無く4Qに望みを繋げて3Q終了。

(12 — 10)

第4クォーター

4Qは引き続き開桜はマンツーマンで厳しいディフェンスを展開し、スチールを狙うが高松 にあっさり決められてしまう。開桜は が頑張りドライブからのシュートを連続で決めて、 もポストプレーからのシュートを確実にきめて、開始2分は開桜のリズムで試合が進行した。高松も のミドルシュート のリバンドからのシュートが確実に決まり得点を重ねる。残り3分、20点差が付いた時に開桜がタイムアウトを取る。その後 が頑張り終始早い展開と高さを活かした攻撃を続けた高松が有利に試合を運び、20点差のまま勝利をものにした。

(16 — 12)

チーム名	得点	得点	チーム名	記入者名
高松	56	36	開桜	佐々木 博人
				所属
				旭 光

戦評用紙

第 5 試合

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第14回 鈴木正三杯・女子決勝	開催日 平成23年1月23日(日)	会場 郷土の森総合体育館
男子・ 女子	対戦名 大和田ミニバスケットボールクラブ VS 深川ミニバスケットボールクラブ	

第1クォーター

延長で住吉を下した大和田と、1ゴール差で小柳に勝った深川の決勝。大和田はセンターを下げた2-2-1の良く動くゾーン。深川はオールコートマンツーマン。大和田のゴール下、深川はのゴール下あわせで得点。大和田は広いコートを走って攻め、パスを立てに通す。深川は早いボール運びでがドライブからジャンプシュートで加点する。残4分、6対6。前から当たり、カットに来る深川に対し大和田はのポストプレー中心に攻める。はディフェンスリバンドからロングパスを出す。バイオレーションでチャンスをつぶしてしまう。深川はのストップ&ジャンプシュートで攻めるが、大和田の中心のゾーンは強力。残1分32秒、10対10から深川がフリースロー、更にのドライブが決まり深川3点リードで1Q終了。

(10 — 13)

第2クォーター

大和田ボールでスタート。大和田2-1-2、深川2-3のゾーン。共に得点後はプレスで当たる。大和田はリバンドからののゴール下、のロング、深川はのゴール下で加点。残4分40秒、深川がゴール下のシュートを決める。大和田14-17深川。大和田は長身のはいないが、全員がリバウンドを頑張る。ディフェンスの動きも良く当たりも強いがファールも重なる。残2分52秒を残して、大和田4ファール。深川がジャンプシュートを決め深川3点リードを保つ。大和田はスローインからの合わせ、のフリースローが決まって残2分で、19-19の同点となる。深川は大和田の速攻を止めるがファールになる。残1分32秒、大和田のフリースローで逆転。勢いに乗った大和田は、広いコートを使ったロングパス速攻を出す。キャッチできず不発。残1分、深川のミドルポスト、残7秒大和田のゴール下が決まり22-21、大和田1点リードで折り返す。

(12 — 8)

第3クォーター

ベストメンバーの後半。深川ボールでスタート。大和田ハーフ、深川オールマンツーマン。差を詰めたい深川は早めにシュートを打つが決まらない。大和田はが攻守に頑張り、ディフェンスリバンドからパスの中継ぎ、ポストプレーから得点と活躍しリズムが良くなる。大和田はからへのパスで点差を広げる。更に大和田は得点後にプレスをかけ、深川は攻めあぐねる。深川はディフェンスを頑張り当たりを強くするが、逆に裏へのパスを通され得点される。深川はペイントエリアへの速いドライブをするが、コースを大和田に阻まれる。深川はファールからのフリースローの加点で大和田28-22深川。終盤、大和田はオフェンスリバウンドを頑張り得点につなげ9点リードと突き放す。大和田はボールマンのカットを狙い、深川はオールコートでダブルチームでボールを奪いに行く。大和田はカットからへのパスが決まり、33-22。深川は、ディフェンスを頑張るが得点差が開く。残1分、大和田4ファール。深川はカットからドライブを試みるが、大和田の壁は厚く、不発が続く。大和田はを走らせロングパスを出す攻め。大和田33-23深川。このQは大和田の攻守が勝り、一方的に深川を押えた。

(10 — 2)

第4クォーター

大和田ボールでスタート。共にメンバー、守りは3Qと同じ。深川は早い段階からシュートを放つがなかなか決まらない。大和田はからへのパスが通り攻めに転じる。お互いアーリーオフェンスだが少し粗く、ゴールには至らない。深川はミドルに正確性を欠き、残4分30秒大和田39-25と14点差でタイムアウト。再開後、深川は早いボール廻しからポストのにつなぎ大和田のファールを誘い、がフリースローを2本決める。しかし要のが大和田の厳しいマークにあって押えられリズムに乗れない。深川はディフェンスでも厳しい動きから大和田のボール運びにプレッシャーを掛けるが、長身の大和田への高さを利したパスが止められず苦しい展開が続く。点差は開かず残2分30秒で10点差。残2分を切った辺りで深川のドライブで大和田がファールしてバスケットカウント。フリースローも決まり3点プレーとなり深川が追い上げる。その後は大和田のゴール下、深川の鋭いドライブで共に得点を重ねる。残1分を切ったところで大和田がタイムアウト。再開後大和田は、深川の気迫のプレスに押され気味ではあったが、からへのロングパスが通ってゴール下シュートが決まり勝利を決定づけ、全国大会への切符を手にした。ゲームには負けたが新鋭深川の攻守に渡り澁刺としたプレーが印象に残った決勝戦となった。

(11 — 11)

チーム名	得点	得点	チーム名	記入者名
大和田	43	34	深川	平林昭二
				所属
				アンリミテツズ

戦評用紙

第 6 試合

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第14回 鈴木正三杯・男子決勝	開催日 平成23年1月23日(日)	会場 郷土の森総合体育館
男子・女子	対戦名 小川ミニバスケットボールクラブ VS 高松ミニバスクラブ	

第1クォーター

昨年9月の優勝大会3位高松と、ノーシードから弥生第二・光華を破って勝ち上がってきた小川の、全国大会出場を賭けた決勝戦。スタートは両チームともマンツーマンでスタート。小川が のゴール下シュートと の連続得点で先制する。開始直後は堅さの見られた高松だが、その後は4連続シュートで得点を重ねて逆転するとリズムに乗った展開で更に加点する。小川は高松の勢いに押され気味であったが、長身 の個人技からの展開で対抗し、徐々に自分達のプレーを取り戻し9対12と3点差まで盛り返す。終盤高松は、 から への合わせで差を広げるが、小川もシュートを決めて1Qは3点差で終了。

(11 — 14)

第2クォーター

2Qの両チームのディフェンスは、小川はマンツーマン、高松はゾーンでスタート。体格に勝る高松は、小川のディフェンスを破って連続得点で勢いに乗りリズムを掴む。その後も高松は小川のディフェンスをかいくぐり、高さや個人技から加点する。小川は高松のゾーンディフェンスに苦しみ、得意のオフェンスも単発で連続で得点を挙げられない。この第2Qは高松のゾーンディフェンスが功を奏して高松の一方的な展開となり、前半は38-21とやや一方的なゲーム展開となる。

(10 — 24)

第3クォーター

ベストの対決。共に有する長身者の動きが鍵。小川は前半の得点差を詰めようと、 の個人技からの積極的なオフェンスから連続得点で高松を追いかける。ディフェンスはオールコートマンツーマンを展開し、後半のスタートは小川のペースで進行する。時間の経過と共に高松も小川の徐々にプレスに慣れ、パスが裁けるようになり小川のディフェンスの裏を取れるようになる。小川のディフェンスを崩せるようになった高松は連続で得点を重ね、小川に傾いたゲームの流れを取り戻し逆に得点差を広げる。小川は滑り出しは良かったが、後半は高松のペースで終了。高松が24点差をつける。

(12 — 19)

第4クォーター

何としても追い付きたい小川は、得点差を跳ね返そうとスタートからオールコートディフェンスを仕掛けるが高松は落ち着いた試合運びで一進一退の展開となる。共にディフェンスが粗く、個人技からの得点が続く。大量点に守られた高松は、残2分40秒でタイムアウトを取り、残り時間の意思統一を図る。この直後から小川が の長身者の個人技で4連続シュートが決まり気を吐くが、高松も何とか持ち直してボールをコントロールして試合終了。うれしい全国大会出場の切符を手に入れた。

(18 — 14)

チーム名	得点	得点	チーム名	記入者名
小川	51	21 — 38 30 — 33	高松	星光男
				所属
				恩方